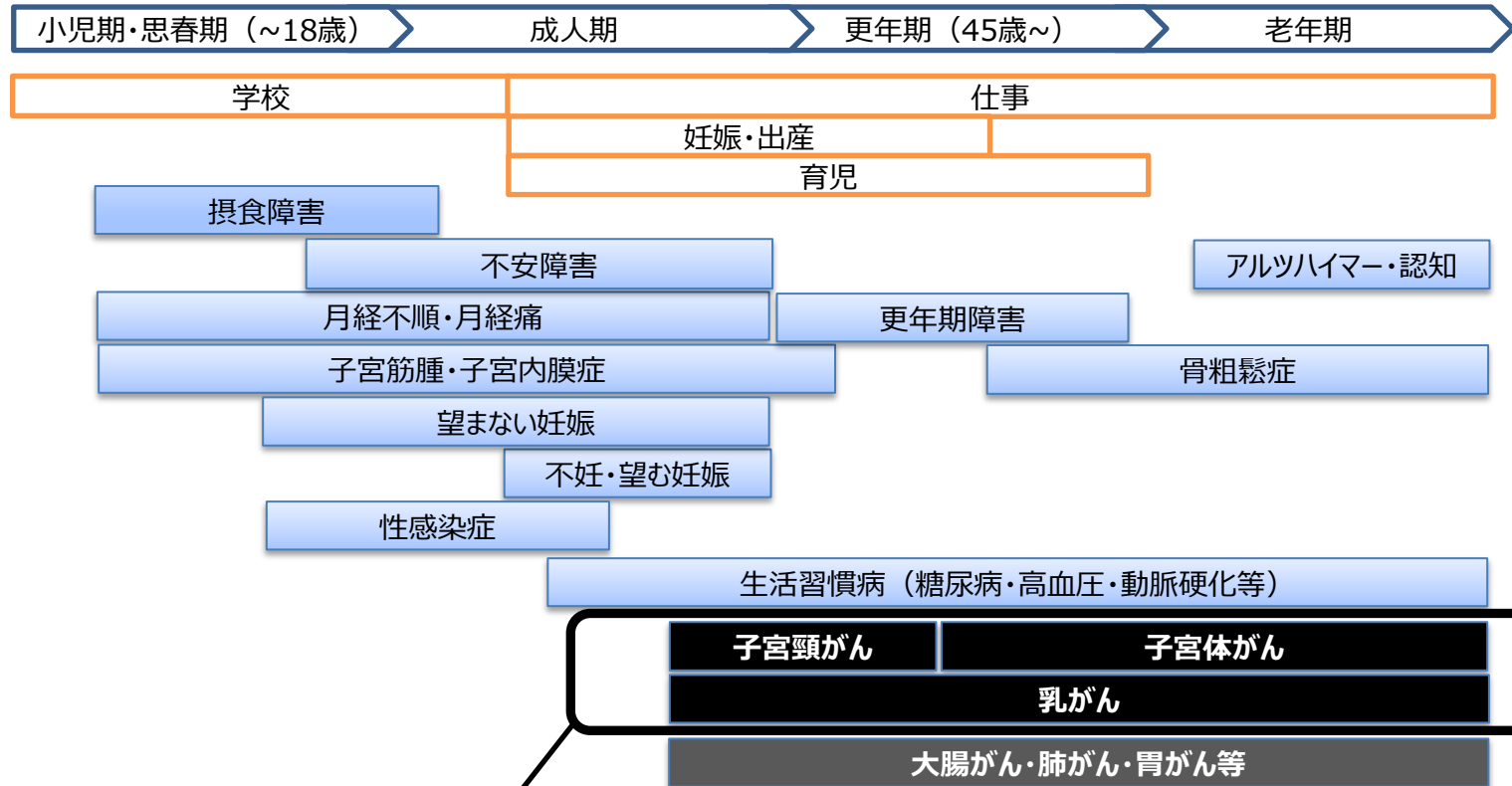


女性のライフステージと健康問題への対応



- 女性が生涯を通じて活躍していくためには、女性の力を最大限に引き出すことが必要であり、女性の健康問題はとても重要な課題の一つ。
 - 女性の健康問題のうち、女性特有のがんである**子宮頸がん・乳がん**は、女性のライフステージの長い期間に渡り、誰もが罹患する可能性があり、生命や予後に影響する重大な疾患の一つである。
 - そこで、数多くある女性の健康問題のうち、**子宮頸がん・乳がん**を題材として、**女性のヘルスリテラシーを高めるための具体的な方策を検討する。**
- ⇒早期発見・早期治療により、治癒する可能性が高い疾患の一つであるため、がんを正しく知り、予防・早期発見することが、がん死亡のリスクを減らすことに繋がる。

ヘルスリテラシーの向上による望ましい行動 (子宮頸がん・乳がんの場合)

- 女性が自分の身体の変化について正しい知識を持ち、普段と異なる変化を感じたら速やかに医療機関に受診する。
- がん検診のメリットとデメリットを正しく理解し、がん検診を定期的に受診する。
- がん検診で要精密検査となった場合には必ず精密検査を受ける。

女性のヘルスリテラシー向上に向けた検討会

ヘルスリテラシーの向上による望ましい行動の実現に向けて

◀ がん検診に関わる各主体に求められること ▶

- 【実施主体（区市町村）】 受診者の利便性等に配慮した受診環境を整備し、国指針・都技術的指針・チェックリストに基づいた正しいがん検診を実施。
受診対象者に対する個別勧奨・再勧奨の実施（精密検査も含む）
- 【検診機関（医療機関）】 国指針・都技術的指針・チェックリスト・委託仕様書に基づいた正しいがん検診を実施（精度管理）。
受診者に対する検診の有効性等についての説明。精密検査実施後は検査結果を区市町村等に対して返送。
- 【東京都】 上記の各主体に対する取組の支援（がん検診精度管理、普及啓発、区市町村・検診機関の取組支援等）

検討事項

女性が、子宮頸がん・乳がんに対する正しい知識を身に付け、適切ながん検診を定期的を受診できるよう、検診に関与する各主体の取組が一層進むような次の施策を検討(主に①④を中心に議論)

①女性ががん予防を含めた健康に関する正しい知識を身に付ける方法

- ②有効ながん検診の実施
- ③がん検診の質の管理（精度管理）

④がん検診の受診促進（受診率の向上）

⇒これらの検討結果について、次年度以降の予算要求に反映させ、事業実施に繋げていく。

また既存の取組は、必要に応じて見直しを図っていく。

- ②③の検討結果は、東京都生活習慣病検診管理指導協議会がん部会に報告し、精度管理の徹底に向けた取組に活かしていく。
- 対策型検診を中心に議論を進める（任意型検診や職域検診は含めない）。

構成メンバー（敬称略）

区分	所属	氏名
学識経験者 【座長】	聖路加国際病院放射線科乳房画像診断室長	角田 博子
検診機関	国際医療福祉大学三田病院予防医学センター講師	齊藤 英子
関係団体	東京都医師会理事	鳥居 明
区市町村代表	江戸川区健康部健康推進課長	塚田 久恵
	多摩市健康福祉部健康推進課長	金森 和子

スケジュール

令和元年度				令和2年度以降
女性職員ワークショップ ^o （5/9）	第1回（7/24 19:30-）	第2回（8/6 19:00-）	第3回（8/27 19:00-）	
女性特有の子宮頸がんや乳がんの予防・早期発見に繋げるための取組について、特に受診率が低い世代の女性同士で議論し、検診受診を促すための効果的な施策の提案に繋げる。 【対象】都職員（概ね25歳未満の女性）	○本検討会の設置目的・検討事項 ○東京都におけるがん検診の現状と課題 ○ヘルスリテラシー向上に向けた今後の方向性	○都のがん検診の受診促進に向けた取組 ○都内区市町村、他道府県における受診促進に向けた取組 ○ヘルスリテラシー向上に向けた取組の提案	○ヘルスリテラシー向上に向けた取組の最終提案	
			令和2年度予算要求に反映	施策の展開